

## 第94回都市計画審議会会議録

日 時:令和6年11月8日(金)午前10時00分～11時30分

場 所:長岡京市役所 新庁舎5階 第一委員会室

出席委員:干場志都恵、中村亮太、二階堂恵子、八木浩、石垣泰輔(会長)、野呂充(会長代理)、  
上林季之、福西一夫、船倉哲生、西田教子、三宅尚嗣、小山泰弘、大谷厚子、壺井康之、  
巽英人(代理:山村交通総務係長)、湯川清隆

欠席委員:三好岩生

出席幹事:能勢総合政策部長、裕環境経済部長、日高建設交通部長、清水上下水道部長

事務局:[都市計画課] 廣課長、西小路課長補佐、三原主査、山口技師

[まちづくり政策室] 柳沢室長、上田主幹

傍聴者:なし

### 1. 開会 午前10時00分

開会、審議会の成立、及び傍聴者の報告(以上事務局より)

### 2. 審議

(1)付議1 京都都市計画生産緑地地区の変更(長岡京市決定)案について

【内容】 事務局から内容を説明後、審議に入る。

～意見・質疑なし～

【審議結果】 原案妥当

(2)意見聴取 特定生産緑地の指定について

【内容】 事務局から内容を説明後、審議に入る。

～意見・質疑なし～

【審議結果】 支障なし

### 3. その他

報告案件 長岡天神駅周辺まちづくりの進捗について

【内容】 事務局より内容を説明後、意見交換する。

(委員) 暫定ロータリーについて、最終的にはこういった形のロータリーを設けるのかという計画があれば教えていただきたい。また、暫定ロータリーは天神踏切の所にできるということですが、ロータリーへの進入と退出の動線を、どのように確保されるのかお聞かせください。

(事務局) 1点目の暫定ロータリーについて、暫定というのは連続立体交差事業が完成するまでの間、という位置付けにしております。連続立体交差事業が完成した後については、東地区全体で土地区画整理事業を行っていく計画を持っており、その中でこういった形になるのか

というのは今後の検討ということになります。

2 点目の暫定ロータリーの動線について、現在、どのような形になるか、広場内のレイアウトも含めてプロポーザルを行っているところで、今月末には駐車場事業者を決定する予定です。車両の出入口については、まだ公安協議中のため正式に決定をしているわけではありませんが、東側に拡幅するアクセス道路の中央あたりに出入口を設けるような予定としております。

(委員) この計画の中で、「長岡京らしさ」というのはどこにありますか。

(事務局) 西地区の市街地整備事業における「らしさ」ということで、これまで地権者検討会の役員会を中心に議論をしてまいりましたが、どういう形で「らしさ」を出していくのかというのは、結論として出ているわけではありません。市街地再開発事業を今、念頭に置いているわけですが、新たなまちではあるけれども、その「らしさ」を残していくかというのは、これからも引き続き検討していかなければならないというご意見が多数あります。

(委員) 西地区について、具体性が出てきて、いろんな年代層が集まる場所、潤いができる場所、憩いの場所など、いろいろ方針を考えられていますが、逆に西地区だけで完結してしまうのではないかと感じています。市内の回遊もそこだけで終わってしまうというより、長岡京市のいいところ、「長岡京らしさ」というのを知ってもらうためには、もう1歩そこから出ることも大切かと思しますので、周りの商店街などへと、人が流れるような仕組みづくりが大切かと思いますが、どのようなお考えがありますか。

(事務局) ご発言いただいた視点、観点も含めて議論いただいているところです。具体的にはセブン通りや長岡天満宮まで、いかに人に回遊していただけるかという回遊動線を、ウォーカブルの視点も含めて、今計画を作っているところです。そのためには、特に西側の天満宮までのアゼリア通りや天神通り、ここの都市計画の手法も含めて、そういった誘導ができないかということを検討しているところです。

(委員) 今の問題点や課題の解決になるような補助幹線道路や次のロータリーの整備については、現在出迎える車等含めていろんな場所の道路に負担がかかっているため、速やかに整備を進めてもらいたい。一方、これは道路も含め、高架化事業を見据えると長丁場となるので、今考えていることが、いざ出来上がったときには過去の遺物にならないよう、長岡京がどうなるかという将来を見据えて事業に関わってってもらいたい。

4. 閉会 午前11時30分